

PhD プロフェッショナル登龍門 試行プログラム 「NAGOYA Future Session」のご案内

背景：少子高齢化・人口減少、長引く経済的混迷とますます激化するグローバル経済競争、環境・資源・エネルギー問題、社会の安全確保など、さまざまな課題にわが国は直面しています。こうした課題に対処し、活力ある社会を創造し維持していくためには、科学技術の成果を効果的に活用することが不可欠です。そしてそのためには、科学技術の個別分野のシーズから発想する「フロントキャスト」だけでなく、社会のニーズや課題の側から発想する「バックキャスト」を通じて、科学技術が取り組むべき課題を適切に設定することが大切です。そこでは、人文・社会科学も含む異分野の研究者や、産業界、市民社会など社会の多様な人々との幅広いコミュニケーションを通じて、ニーズや課題の可視化や分析を行い、政策や研究開発を企画立案・推進していくことが求められます。

文部科学省では、この流れに沿い、新しい産業創出を目指し、産学連携でイノベーションを生み出す仕組み作りを平成 25 年度から実施する予定です。

目的：来るべき少子高齢化社会に対し、今後 10～20 年後に向けて我々が目指すべき社会の姿（ビジョン）、特に、今回は広い意味での人と社会の共存を実現するモビリティ（移動）・情報を一つの切り口とし、その実現に向けて取り組むべき課題（イシュー、アジェンダ）とはどのようなものか、どのようなものが課題を解決につなげる技術となるかについて多角的に検討すること

日時：平成 25 年 1 月 12 日（土曜日） 10:00～17:00

場所：名古屋大学 ES 館 2F 大会議室

活動内容：異分野・異業種・異領域からの参加者による「未来に向けた対話（フューチャーセッション）」を実施します。

進行役、企業関係者、大学職員、学生等からなるグループを形成、そこで、今回のテーマである「将来の人・もの・情報のモビリティ」等の課題について、20-30 年後の人口推移等の客観的なデータをもとに、議論します。

技術的に可能かどうかは度外視し、「こんなものがあったら社会はこう変わる」「こんなものがあったら自分はこんなふうにする」といった感覚的な意見を交換します。

現時点で、トヨタ自動車、東芝等、企業の参加が予定されています。

申込方法：1 月 10 日（木）17 時までに、メールにて下記連絡先まで参加希望の旨を連絡すること。その際、メールの表題は「Future Session 参加希望」とし、本文には氏名・学生番号・所属・連絡先を明記すること。

参加可否については 1 月 11 日（金）までに連絡いたします。

備考：「NAGOYA Future Session」は、PhD プロフェッショナル登龍門における試行プログラムの一環であり、期間中に研究アシスタントが最低でも一つは参加する必要があるコースワークの一つです。参加した場合は、超過勤務をしたものとして扱い、所定の手当を支払います。また、参加した場合は、試行プログラムに対する意見等をレポートとしてご提出いただきます。